

## 中央大学 2026 年度一般選抜【出題の意図】

試験日：2026 年 2 月 11 日

学部：商学部 A

科目：日本史

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

大問Ⅰでは、主に弥生時代から 11 世紀にかけての、政治史・軍事史にかかわる基本的な流れや、当該期の重要な歴史的イベントが相互に関連していることについて、基礎的な知識と応用力を、受験生が身につけているかを確認するための設問を行っている。遺跡の成り立ち、氏姓制度の基礎的な構造、重要人物の果たした役割と政治史への影響など、人物と事件双方の視点から、各時期の歴史的経緯と特徴について問うている。なお、史料問題では、当該史料のタイトル、史料に記載された文言、史料の成立背景に関する設問などにより、史料から当該期の政治とその前史を理解・考察する、基礎力と応用力を問うた。

大問Ⅱは、第一次世界大戦から 1920 年代にかけての社会史・文化史を通して、人びとの生活や都市の様式が大きく変化してゆく過程と、この過程における社会と文化の相互関連に関して、その理解度を問うものである。女性の社会進出、教育制度、雑誌類の刊行などのテーマを通して、当該期の調査記録なども扱いながら、基礎的な知識の定着度や応用力を問うている。

大問Ⅲは、第一次世界大戦後から 1980 年代にかけての、日本と世界の経済政策を主な題材としながら、①世界経済と日本経済の関り、②当該期日本の経済政策の目的と結果について、受験生が基礎的な知識を有しているか、それぞれの事件の相互関連を理解する応用力を有しているかを問うている。また、問 11 から問 15 にかけては、1980 年代から 1990 年代にかけての、アジア史やアフリカ史を扱っている。これらは、当該期のアジア・アフリカにおける政治史の流れ、重要人物の考えと政策を、相互に関連付けながら理解できているかを問うている。